

小柴貯油施設跡地の工事における安全対策報告書について

令和2年8月25日に金沢区長浜の小柴貯油施設跡地（公園予定地）内において発生した事故の原因については、警察が特定に向けて捜査を進めているところであり、環境創造局では、警察や労働基準監督署に全面的に協力しています。

今回の事故を契機に、事故の背景になったと考えられる跡地の特殊性に関して整理した上で、当該跡地の今後の安全対策について検討し、その対策を取りまとめましたので公表します。

なお、安全対策を実施した後、中止している工事の再開については12月3日を予定しています。

【報告書のポイント】

- ・ 跡地の現状と特殊性（報告書 P8）

小柴貯油施設は、金沢区東部に位置する面積約53 haの米軍基地の跡地で、平成17年12月に返還されました。跡地の特殊性としては、起伏に富む広大な敷地であること、旧日本軍や米軍の地下埋設物等の存在、地下トンネル・防空壕の存在及び地下タンクの存在等が挙げられます。

- ・ 跡地の特殊性を踏まえた安全対策（報告書 P24）

跡地の特殊性のうち「旧日本軍や米軍の地下埋設物等の存在」、「地下タンクの存在」が特に重大事故につながる危険性が大きいと考えられます。そのため、これらの特殊性に重きをおき、今後当該跡地で行う工事の安全を確保するために必要な対策について、工事等を考慮し「短期的に取り組む最優先対策」、「工事再開後速やかに行う対策」、「第1期エリア部分公開までに行う対策」、「中長期的に取り組む対策」の4段階に分けて整理しました。

短期的に取り組む最優先対策として、本市職員、施工業者等全ての工事関係者へ危険箇所を認識させるとともに、物理的に柵等で囲うことにより人が危険箇所に近づけないようにする対策等を実施します。これらが適切に実施されたことを確認した上で、現在中止している工事を再開することとします。

- ・ 小柴貯油施設跡地における工事に携わる職員が共有する事項（報告書 P34）

今回の事故を踏まえ、小柴貯油施設跡地における工事に携わる職員（設計者、監督員及び施設管理者）が共有する重要な事項について整理しました。

ホームページに報告書概要版、報告書全文を掲載しています。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/kankyo/2020/202011251000.html>

| |
|-----------------------------------|
| お問合せ先 |
| 環境創造局技術監理課 長内 紀子 Tel 045-671-3575 |